「平成２４年度厚生労働科学研究費補助金の公募について（案）」に対する意見募集について（結果）

令和８年６月２日
厚生労働省
大臣官房厚生科学課

Ⅰ　意見募集期間

平成２３年１０月２４日（月）から１０月３１日（月）まで

Ⅱ　意見数

合計：８４件

※　１人から複数の意見提出があった場合にはそれぞれ別個にカウント

Ⅲ　研究事業別集計（別添のとおり）

Ⅳ　主な意見

１　厚労科研費全体についてのご意見

○全ての研究分野で、動物実験代替法の確立を取り組むべき課題として、補助金の交付対象としてほしい。（同旨３９件）

【対応】

（現状で対応済み）

化学物質リスク研究事業の「①の化学物質の有害性評価の迅速化・高度化に関する研究」の枠の中で、動物実験代替法の研究を募集します。

なお、これまでも平成 23 年度の同事業の「国際協調により公的な試験法を確立するための手順に関する研究」の中で代替法の研究を行っています。

○備品の購入において 本研究事業のみに使用するという制限があるが、これは国民の税金を原資とする研究事業において、資金の有効活用という点から考えると、汎用性のある使途に使用することができるほうがより有効な活用であると考えます

【対応】

（現状で対応済み）

３０万円以上の機械器具を補助金の交付の目的に反して使用する場合は、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律及び厚生労働科学研究費補助金取扱規程により、厚生労働大臣の承認が必要となります。

ただし、これらの機械器具を、研究者の所属機関で研究事業と類似した研究活動に利活用する場合については、この承認の手続の簡素化を図っております。

○「薬事承認審査等の経験を有する者が研究計画に参画している研究を優先的に採択する。」というのは、新たな天下り構造ではないか。

【対応】

（現状のとおり対応予定）

この取扱は、日本発の革新的医薬品・医療機器の開発と実用化、ドラッグラグ・デバイスラグのさらなる短縮を図ることを目的としたものとご理解いただければと思います。

２　個別の研究事業についてのご意見

【ご意見】

（１）政策科学総合研究事業
①政策科学推進研究事業

○高齢就業を可能とするために必要な体力とその確保に関する研究を提案する。

【対応】

（現状対応不可だが、今後検討予定）

本研究事業では、これまでも社会・経済構造の変化と社会保障に関する研究分野において、少子高齢化の進展に伴う労働力人口減少に関する研究などを実施してきたところです。ご提案の研究課題についても、今後、関係部局と連携を図りつつ、本研究事業の趣旨と厚生労働行政施策の企画立案及び推進に有用であるかという観点から研究実施の可否について検討していきたいと考えています。

（４）創薬基盤推進研究事業
①創薬総合推進研究

○本事業はワクチン開発事業のようだが、創薬がワクチンだけでよいのか。また、創薬には世界展開を見据えた戦略が必要。

【対応】

（現状で対応済み）

本研究事業においては、ワクチンを含む新薬の開発を促進するための基盤技術研究を推進しております。

（４）創薬基盤推進研究事業
②創薬バイオマーカー探索研究
（６）医療技術実用化研究事業
① 臨床研究推進研究

○文部科学省で行われている創薬事業との違いが分からない。厚生労働省はもう少し文部科学省の事業をうまく使うべきである。

【対応】

（現状で対応済み）

文部科学省においては基礎研究を推進しているのに対し、厚生労働省では臨床研究を推進し、医療への実用化に繋げる取組を実施しております。

（７） 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業

○低出生体重児と体幹機能障害などの障害に関する中期的な前向き研究を行ってもらいたい。

【対応】

（公募要項に一部反映）

低出生体重児の予後及び保健的介入についての研究を検討しています。

（１０）難治性疾患等克服研究事業

①腎疾患対策研究事業

○腎疾患の主たる原因が糖尿病とあるが、これは難治性疾患克服研究事業の中でするようなものなのか。

【対応】

（現状で対応済み）

慢性腎臓病の主たる原因は、糖尿病や高血圧などの生活習慣の影響を大きく受ける疾患であることは多いですが、それ以外にも原因が不明な腎損病や希少難治性疾患が原因となっているものもあり、それらを含めた包括的、効率的な研究を実施することにより治療法の創出、疾患の克服を目指した臨床研究を公募する予定としています。

②免疫アレルギー疾患等予防・研究事業

○ アレルギー自体が難治性疾患と思えないが、今後、アレルギーも難治性疾患に含むという方針に変わるのか。

【対応】

（現状で対応済み）

アレルギー疾患全般が難治性疾患に含まれるわけではありません。厚生科学審議会疾病対策部会リウマチ・アレルギー対策委員会の報告書において、アレルギー疾患対策において重点的に推進する分野として、

一般的なアレルギー疾患に対する研究推進のみでなく、現行の治療法による疾患管理が困難な難治性アレルギー疾患を対象とした治療方法の開発にかかる研究を推進するよう提言されたことを踏まえ、免疫アレルギー疾患分野についても、希少難治性の病態を示すアレルギー疾患についても研究を推進することとしています。

③難治性疾患等克服研究事業

○慢性活動性 EB ウイルス感染症は、稀ではあるが、我が国の小児・若年成人に独特の疾患で、重症かつ予後が悪いため、その診断・治療の確立が危急の課題であり、この研究を継続させてもらいたい。

（同旨１０件）

【対応】

（公募要項に反映）

難治性疾患等克服研究事業においては、「希少性（おおむね 5 万人未満）・原因不明・効果的な治療方法未確立・生活面への長期にわたる支障」の 4 要素を満たす、あるいは満たす可能性のある疾患を対象に研究を進めております。慢性活動性 EB ウイルス感染症については、平成 21 年度に開始された研究奨励分野の中で研究が進められてきました。

来年度については、研究奨励分野はこれまで、疾患単位で小規模な研究を実施してきましたが、それらの研究で得られた成果をさらに発展させるために、互いに関連する複数の疾患群を設定し、組織的・体系的に研究を推進する体制を構築した研究班で研究を推進する予定です。

○順調に行き始めた３年で班研究がなくなるのは非常に残念。終了予定の研究課題で、さらなる発展が見込める研究課題については継続してもらいたい。（同旨２件）

【対応】

（公募要項に反映）

難治性疾患等克服研究事業においては、「希少性（おおむね 5 万人未満）・原因不明・効果的な治療方法未確立・生活面への長期にわたる支障」の 4 要素を満たす、あるいは満たす可能性のある疾患を対象に研究を進めております。特に、平成 21 年度に開始された研究奨励分野は、それ以前に研究がなされたことのない希少性難治性疾患を対象としております。

来年度については、研究奨励分野はこれまで、疾患単位で小規模な研究を実施してきましたが、それらの研究で得られた成果をさらに発展させるために、互いに関連する複数の疾患群を設定し、組織的・体系的に研究を推進する体制を構築した研究班で研究を推進する予定です。

○内分泌腫瘍症の研究により、患者の病態把握やエビデンスに基づいた診療構築のための研究が進んだ。今後も研究が続けられるよう支援をお願いする。（同旨１件）

【対応】

（公募要項に反映）

難治性疾患等克服研究事業においては、「希少性（おおむね 5 万人未満）・原因不明・効果的な治療方法未確立・生活面への長期にわたる支障」の 4 要素を満たす、あるいは満たす可能性のある疾患を対象に研究を進めております。特に、平成 21 年度に開始された研究奨励分野は、それ以前に研究がなされたことのない希少性難治性疾患を対象としております。

来年度については、研究奨励分野はこれまで、疾患単位で小規模な研究を実施してきましたが、それらの研究で得られた成果をさらに発展させるために、互いに関連する複数の疾患群を設定し、組織的・体系的に研究を推進する体制を構築した研究班で研究を推進する予定です。

○ベーチェット病の治療体制の研究、薬の治験をしてもらいたい。（同旨１件）

【対応】

（現状で対応済み）

ベーチェット病については、難治性疾患等克服研究事業において、原因の究明、治療法の開発等を目指した研究を継続的に進めてきております。引き続き、来年度も研究を推進していきます。

なお、新たに同事業の重点研究分野において、希少難治性疾患（明らかな外因性疾患、急性疾患等は除く）に対する新たな医薬品等医療技術の実用化に関する研究を推進する予定です。

○難治性疾患の新生児などに対する治療法の確立も重要と考えます。このような治療法には、各難治性疾患特異的なものと、一般的な未熟児も含めて応用できる治療法があり、後者のような研究を推進すべき。

【対応】

（対応不可）

難治性疾患等克服研究事業においては、「希少性（おおむね 5 万人未満）・原因不明・効果的な治療方法未確立・生活面への長期にわたる支障」の 4 要素を満たす、あるいは満たす可能性のある疾患を対象に研究を進めております。低出生体重児に関しては、母子保健に関わる分野での対応が必要であることや、人口動態調査によると低体重出生児は年間 10 万人を超えていることから、当分野における対応は不可能です。一方で、各希少性難治性疾患特異的なものが一般的な未熟児に対しても応用できる技術が出来てくる可能性はあり得ます。

○ 複数の因子が関わり発症する希少疾患の研究を推進すべき。

【対応】

（現状で対応済み）

難治性疾患等克服研究事業においては、「希少性（おおむね 5 万人未満）・原因不明・効果的な治療方法未確立・生活面への長期にわたる支障」の 4 要素を満たす、あるいは満たす可能性のある疾患を対象に研究を進めております。このような疾患の多くは遺伝性疾患となっていますが、遺伝性疾患と言っても多くは単一因子ではなく環境要因や複数の要因によって発症してくる疾患であり、引き続きこれら希少疾患の研究は推進していきます。

○３年前に開始した研究試料の提供事業の記載がないが、短期的な成果が目に見えなくても、継続し、さらに具体的な方針を示すことが必要では。

【対応】

（公募要項に一部反映）

研究試料の提供事業については過去 3 年にわたり実施してきておりますが、提供事業のみを単独で行っても十分な試料の収集が出来ない等、効率的な成果を上げられていないとの指摘もあります。来年度は、実際に試料を作成する研究と連携した事業として整理を行う予定です。

（１１）長寿科学総合研究事業

○東日本大震災の被災高齢者を対象とした研究が必要（特に、被災地だけでなく他の地域をフィールドとした研究、医療に工学や社会科学などを加えた総合的アプローチ、阪神淡路大震災のその後の状況の把握等の観点から）

【対応】

（公募要項に一部反映）

長寿科学総合研究事業では、２０１２年度において、東日本大震災の被災高齢者を対象とした研究を課題設定し、実施することとしております。

（１３）障害者対策総合研究事業

○在宅超重症児のケアの実情を何らかの客観的な方法で測定する必要がある。それによって、潜在的な需要との間のギャップを埋める方策が得られると思う。

【対応】

（現状で対応済み）

これまでも重症児に対する客観的評価指標の開発や療養・療育環境の拡充等に関する研究に取り組んでおります。また今年度は（ア）身体・知的等障害分野「⑤　医療的ニーズのある在宅重度障害者を支える地域資源の開発に関する研究」として課題を設定予定であり、この中で在宅超重症児のケアの実情に関する客観的測定法等についても応募は可能です。

○　（イ）感覚器障害分野では、特に人生の途中で視力を喪失した「中途視覚障害者」を対象とする点字の学習支援について研究をしてもらいたい。

【対応】

（現状で対応済み）

今年度も、「③　感覚器障害を有する者のリハビリテーション及び自立支援に関する研究」として課題を設定予定であり、この中で中途視覚障害者に対する支援技術等についても応募は可能です。

（１４）新型インフルエンザ等新興･再興感染症対策研究事業

○社会的要請としてウイルス糖尿病研究の重要性が増しているので、ウイルス糖尿病のタイトルで、厚生科学研究費を募集されることを提案する。

【対応】

（現状では対応不可だが今後検討予定）

新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業の研究課題は、感染症対策の観点から重要性・緊急性の高い研究課題を公募することとしております。

ウイルスによる糖尿病について、感染症対策の一環として対策を講じる

には、基礎的な研究の集積を待つ必要があることから、現時点で本事業の対象とすることは難しいと考えられます。

別添

Ⅲ 研究事業別集計

研究分野	研究事業		計
Ⅰ.行政政策	行政政策研究事業	(1)政策科学総合研究事業	
		①政策科学推進研究事業	1
		②統計情報総合研究事業	0
		(2) 地球規模保健課題推進研究事業	0
			1
Ⅱ.厚生科学基盤 ＜先端医療の実現＞	1 先端的基盤開発研究事業	(3) 再生医療実用化研究事業	1
		(4) 創薬基盤推進研究事業	
		①創薬総合推進研究事業	2
		③創薬バイオマーカー探索研究事業	2
		(5) 医療機器開発推進研究事業	
		①医療機器開発（ナノテクノロジー等）総合推進研究）事業	1
	2 臨床応用基盤研究事業	(6) 医療技術実用化総合研究事業	
		①臨床研究推進研究事業	2
			8
Ⅲ. 疾病・障害対策 ＜健康安心の推進＞	(7) 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業		1
	(8) 第3次対がん総合戦略研究事業		0
	生活習慣病・難治性疾患克服総合研究事業	(9) 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究	0
		(10) 難治性疾患等克服研究事業	
		①腎疾患対策研究事業	1
		②免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業	1
		③難治性疾患克服研究事業	27
			29
	長寿・障害総合研究事業	(14) 長寿科学総合研究事業	2
		(15) 認知症対策総合研究事業	0
		(16) 障害者対策総合研究事業	3
			5
	感染症対策総合研究事業	(17) 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業	1
		(18) エイズ対策研究事業	0
		(19) 肝炎等克服緊急対策研究事業	0
			1
			36
Ⅳ. 健康安全確保総合 ＜健康安全の確保＞	(20) 地域医療基盤開発推進研究事業		0
	(21) 労働安全衛生総合研究事業		0
	食品医薬品等リスク分析研究事業	(22) 食品の安全確保推進研究事業	0
		(23) 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業	0
		(24) 化学物質リスク研究事業	0
			0
	(25) 健康安全・危機管理対策総合研究事業		0
			0
研究事業記載なし			40
合計			**84**